

令和4年度教育課程研究集会
小・中 特別の教科 道徳

特別の教科 道徳の指導における
「主体的・対話的で深い学び」の実現に
向けた授業改善について

令和4年8月
奈良県教育委員会事務局
学ぶ力はぐくみ課 義務教育指導係
指導主事 仲川克子

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

小・中学校学習指導要領 「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」

道徳的諸価値の「理解」

価値理解

人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること

人間理解

道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなども理解すること

他者理解

道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は一つではない、多様であるということをも前提として理解すること

道徳科の中で道徳的価値の理解のための指導をどのように行うのかは、授業者の意図や工夫によるが、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うには、道徳的価値について理解する学習を欠くことはできない。また、指導の際には、**特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり**、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを**観念的に理解させたりする**学習に終始することのないように配慮することが大切である。

物事を（広い視野から）多面的・多角的に考える

道徳性を養うためには、児童が多様な感じ方や考え方に接することが大切であり、児童が多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話したり協働したりしながら、物事を多面的・多角的に考えることが求められる。



物事を多面的・多角的に考える学習を通して児童生徒一人一人は、価値理解と同時に人間理解や他者理解を深め、更に自分で考えを深め、判断し、表現する力などを育む。

自己の（人間としての）生き方についての考えを深める

道徳的価値の自覚を深める過程で、同時に自己の生き方についての考えを深めていることに強く意識させることが重要。

例えば、

- 児童が道徳的価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止められるようにする。
- 他者の多様な感じ方や考え方に触れることで身近な集団の中で自分の特徴などを知り、伸ばしたい自己を深く見つめられるようにする。
- これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深めることができるようにする。

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる

道徳性の諸様相

道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、善を行うことを喜び、悪を憎む感情

道徳的実践意欲と態度

道徳的判断力や道徳的心情によって価値があることとされた行動をとろうとする傾向性

道徳的実践意欲

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を実現しようとする意志の働き

道徳的態度

道徳的判断力や道徳的心情に裏付けられた具体的な道徳的行為への身構え

主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善の視点

主体的な学び

- ・ 問題意識を持つ
- ・ 自分自身との関わりで考える
- ・ 自らを振り返る等

対話的な学び

- ・ 協働し、対話する
- ・ 多面的・多角的に考える
- ・ 学級経営の充実を図る等

考え、議論する

深い学び

- ・ 読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習
- ・ 問題解決的な学習
- ・ 道徳的行為に関する体験的な学習

道徳科の指導

- (1) 道徳科の特質を理解する
- (2) 教師と児童、児童相互の信頼関係を基盤におく（小）
信頼関係や温かい人間関係を基盤におく（中）
- (3) 児童（生徒）の（内面的な）自覚を促す指導方法を工夫する
- (4) 児童（生徒）の発達や個に応じた指導を工夫する
- (5) 問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法の工夫をする
- (6) 道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実する

小・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 第2節 1 指導の基本方針 小
学校P78 中学校P76

学習指導の多様な展開

- (1) 多様な教材を生かした指導
- (2) 体験の生かし方を工夫した指導
- (3) 各教科等と関連をもたせた指導
- (4) 道徳科に生かす指導の工夫
 - ア 教材を提示する工夫
 - イ 発問の工夫
 - ウ 話合いの工夫
 - エ 書く活動の工夫
 - オ 動作化、役割演技など表現活動の工夫
 - カ 板書を生かす工夫
 - キ 説話の工夫

実践についてのまとめ

- ・ 児童の発達段階をしっかりと把握し、ねらいを設定

把握する工夫：道徳的価値についてのアンケート、学校生活の観察等

- ・ 考えを深めるための発問づくり

発問づくりの工夫：価値理解を中心とした綿密な教材研究、考える必然性や切実感のある発問、安心して発言できる学級経営等

- ・ 児童にとって思考を深める重要な手掛かりとなる板書

板書の工夫：教員が明確な意図をもって対比的、構造的に示したり、中心部分を浮き立たせたりする等

おわりに

道徳教育と道徳科のつながりを明らかにした指導

道徳科の特質を踏まえた指導

道徳科のねらいを踏まえ、道徳科の授業で、児童生徒に何について考えさせ、何に気付かせたいのかを明確にもつこと。

指導過程や指導方法、教材・教具等の工夫は、目的ではなく手段であることを認識すること。